

## 目標達成計画

作成日: 平成 26 年 3 月 11 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念は分かっている。覚えてきてはいる。しかし、「分かっている事」を実行するのはまだ完全ではない、染み込み自然にできる事が実行である。	全職員が「心を見がき、心を育て、心の腫(め)で見る事が染め込む。リーダーや上司が分かっている。当然。全職員に染み込ませる。	今年度敬愛グループ全部署目標にして、理念の継続に取り組む。具体的内容のチェックシートを作成し、半年に一度評価していく。	12ヶ月
2	13 23	認知症介護において、重要な洞察を日々磨く事が必要と感じている。ベテランになると思い込みがあったり、新人だと見たままの姿を本人と誤ってしまう。	ご本人の心に秘めた希望を探るまであきらめない姿勢をまず作る。本人の嫌な思い、何で嫌なのかの洞察もできるようになる。	何をしたら喜びを感じたのかを本人の言葉・行動を細かに記録する事を徹底する。本人のストレス状態も探りバイタルや数値からも全職員で発見できるようにする。	24ヶ月
3	26	居宅介護支援専門員研修にこだわらず認知症専門ケアプランを立てられるようにならなければ、生活に根付けない。	認知症であってもその日から、その方が出来る事を目標にする。必ず実行出来る事を発見し心が動き、毎日実践する事で大きな目標へつなげることができる。	まず今の計画書式を変更する。アセスメントから見直し「出来る事」を主体にして、本人の言葉が活きる書式にする。絵に描いた餅にしない。	24ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。